ご協力いただいたみなさま
ありがとうございました

（五十音順）

・一般財団法人 奈良の鹿愛護会
・タカラベルモント株式会社
・奈良県立美術館
・三本 隆行 氏

■展示を担当した先生たち
青木 智史（奈良教育大学 理科教育講座 教授）
池田 藍子（奈良教育大学 美術教育講座 准教授）
宇治 広隆（奈良教育大学 理科教育講座 准教授）
小長谷 達郎（奈良教育大学 理科教育講座 准教授）
岳川 有紀子（奈良教育大学理数教育研究センター特任講師）
辻野 亮（奈良教育大学 自然環境教育センター 教授）
信川 正順（奈良教育大学 理科教育講座 教授）
舟橋 友香（奈良教育大学 数学教育講座 准教授）
三浦 敬任（奈良県立美術館 学芸員）

■展示プランナー
岳川 有紀子（理数教育研究センター 特任講師）

■ワークショップを担当した学生のみなさん
大木 諒（大学院 教育学研究科）
下野 子藍（教育学部 数学教育専修）
相馬 心（教育学部 数学教育専修）
宮下 滉生（教育学部 理科教育専修）
渡邊 良大（教育学部 理科教育専修）

主催・お問い合わせ

奈良教育大学 理数教育研究センター
ならサイエンスプレパーク事務局
電話　0742-27-9333
https://www.nara-edu.ac.jp/NESM/

学生ワークショップ

奈良教育大学 理数教育研究センターのSST（スーパーサイエンスティーチャー）プログラムを受講する学生が、奈良県曽爾村立曽爾小中学校のサマースクールで企画・実践した授業などをアレンジしてお届けします

参加無料　参加方法（先着順）　山田ホールにて、当日、朝10時30分より受付スタート！

開始時刻	テーマ	担当
①11:10 ②11:40	かたい水とやわらかい水	渡邊 良大
③12:10 ④12:40	目指せ！！ 一筆書きマスター！！	下野 子藍
⑤13:10 ⑥13:40	チョウのりんぷんを見てみよう！	大木 諒
⑦14:10 ⑧14:40	お腹いっぱいになれるのは どっちだ！	相馬 心
⑨15:10 ⑩15:40	月の満ち欠けを 宇宙から見てみよう	宮下 滉生

■対象　小学生～おとな（小学5年生未満は保護者同伴でご参加ください）
■所要時間　各回20分くらい
■定員　各回６組
■参加方法　当日、山田ホールでの予約が必要です（先着順）



このプレイベントは、奈良教育大学 理数教育研究センターが構想する「みんなでつくる、みんなで育てる科学の場」への第一歩です。

ご賛同いただけるみなさまのご寄付を、お願いいたします

奈良教育大学は、科学に触れる場を作っています

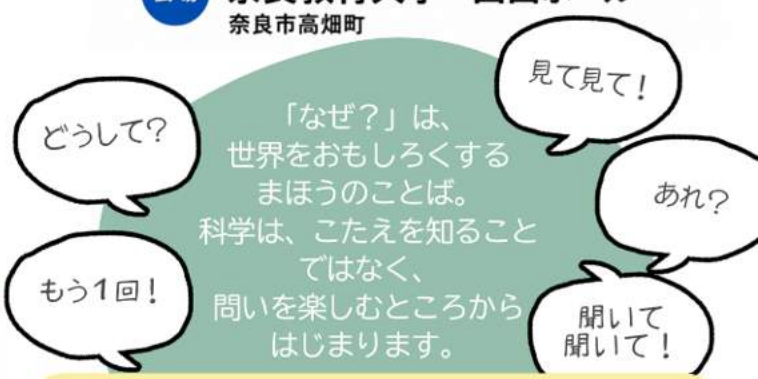
奈良の地で科学に親しみ、科学を楽しみながら「学ぶ・教える・伝える」ことに関わる人々が相互に育ちあう循環モデルの実現を目指して、科学館構想を進めています。





日時　2026年11月15日（日）
11:00～16:00

会場　奈良教育大学　山田ホール
奈良市高畑町



主催　奈良教育大学　理数教育研究センター

EXHIBITIONS | 展示紹介

先生たちの「おもしろい！」

先生たちの「おもしろい！」から、あなたの「おもしろい！」へ。

シカ・クイズ！



奈良公園のシカは、「ニホンジカ」という種類です。

どんなところが気になった？

- □シカフン
- □シカと信号
- □視力
- □フンのそうじ
- □ひじ
- □歯
- □そのほか

辻野 亮（つじのりょう）

動物と環境について研究しています

奈良のキタキチョウ、ひみつのラブラブ大作戦



おなじ「キタキチョウ」でも、よく見るといろいろなちがいがあります。

どんなところが気になった？

- □紫外線のそうち
- □キタキチョウの色や形など
- □小長谷先生の自由研究
- □そのほか

小長谷 達郎（こながやたつろう）

昆虫の生態と保全について研究しています

奈良のかたちを考えてみよう



限られた手がかりから、その先を考えることにわくわく♪

どんなところが気になった？

- □かがみにうつるかたち
- □昔のかわら
- □かたちを予想すること
- □そのほか

舟橋 友香（ふなはし ゆか）
青木 智史（あおき さとし）

数学を学ぶこと(舟橋)，文化財(青木)について研究しています

シカの鳴き声？ブラックホールの音？



「宇宙の音」から、ブラックホールの衝突の瞬間もわかるんです。

どんなところが気になった？

- □シカの鳴き声
- □ブラックホールの音
- □ブラックホールや宇宙
- □そのほか

信川 正順（のぶかわまさよし）

宇宙について研究しています

絵画素材のひみつ

科学と文化の対話からうまれる絵画の素材研究プロジェクト

美術館所蔵作品を、目一杯、拡大して絵画の材料を見くらべよう。

どんなところが気になった？

- □ 拡大した絵
- □ 描いた人
- □ 絵の材料
- □ 描き方
- □ 絵の題材
- □ そのほか
- □ 絵の説明

宇治 広隆（うじ ひろたか）
池田 藍子（いけだ あいこ）
三浦 敬任（みうら ゆきひで）

科学と文化の両面から共同研究を進めています

奈良は何色に見える？



白っぽい光の太陽やライト…実はいろいろな色の光がまざっています。

どんなところが気になった？

- □万博のオブジェ
- □奈良の写真
- □いろいろなライト
- □そのほか
- □色がかわること
- □虹が見えるシート

岳川 有紀子（たけがわゆきこ）

科学の楽しみ方について研究しています

子どもも大人も

楽しみかたガイド

今日の発見をたいせつにしよう

01 まず見つける

気になるものはどれだろう？

会場の中を自由に歩いて、自分が「おもしろいかも！」「気になる…」と思うものを、見つけよう

02 立ち止まる

「あれ？」「もう1回やってみたい」を大切にしよう

気になったこと、ふしぎに思ったことに、挑戦してみよう。まちがえたって、わからなくたって、だいじょうぶ！気にしないで！

03 おしゃべりしてみる

友だちや家族、会場にいる先生、学生さんとおしゃべりしてみよう

「どう思う？」「どうしてだと思う？」「これおもしろいよね」など、おしゃべりしてみよう。自分とはちがう考え方や感じ方に出会えるかも。

04 自分の考えを持つ

正解よりも「自分はこう思う！」「こう考えたよ」を大切にしよう

メモしたり、絵に描いたりしておくと、あとで思い出せるかも。大人のみなさんも、「教えなければ」を少し手放して、おもしろがってみませんか。

ここは、自由に時間を過ごし、自由に感じ、好きなように過ごせる場です。答えが見つからなくても、ちがう感じ方をしても大丈夫です。

自分もみんなも気持ちよく過ごせるように、人や展示を大切にすることはお忘れなく😊